

みどりの風

CONTENTS

- 鹿児島県医師会長賞看護業務功労
- 平成28年度 鹿児島大学医学部地域推薦卒医学生実習
- 倫理医療講演会「多職種で支える看取りについて」

実践的看護研究発表会／職場体験学習
認知症寸劇／フットサル大会／防火訓練
ご意見箱の回答／みなみかぜ便り

錦江町奥花瀬の紅葉

病院理念

地域住民の健康管理のために
地域医療の質と医療人の質の
たゆまぬ向上を目指す。

基本方針

- 一、医療・保健・介護・福祉・行政機関相互の連携を図り、地域住民に信頼される病院を目指します。
- 一、職員一人ひとりが経営意識を持って、安心・安全な医療を提供し、経営改善に努めます。
- 一、医療人としての責任と使命を自覚し、常に自己啓発に努めます。
- 一、多職種協働による、チーム医療と組織横断的活動を推進します。

患者さまの権利

1. 患者さまは、一人の人間として尊重され、平等に安全で適切な医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、十分な説明と情報提供を受けたいうえで、治療方法などをご自身の意思で選択する権利があります。
3. 患者さまは、個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
4. 患者さまは、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

患者さまの責務

1. 患者さまは、ご自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療提供者へ伝える責務があります。
2. 患者さまは、医療関係者と合意した検査や治療方針に対し、意欲を持って取り組む責務があります。
3. 患者さまは、他の患者さまが快適な環境で医療を受けられるよう、病院や社会生活上のルールやマナーを守る責務があります。
4. 患者さまは、検査や治療のために必要な医療費を負担する責務があります。

鹿児島県 医師会長賞 看護業務功労



鹿児島県医師会長賞看護業務功労者表彰が鹿児島市内で行われ、当院から2名、老健みなみかぜから1名の看護職員が受賞し、表彰を受けました。これは鹿児島県内の会員医療機関において25年以上看護業務に就業しており、かつ顕著な功績があった方が受ける表彰です。表彰者よりこれまでの道のりや思い出を語って頂きましたので、ここにご紹介します。



4階病棟
中原 浩子

この度は、鹿児島県医師会長感謝状(看護業務功労)の表彰をいただき、ありがとうございました。医師会立病院に勤務させていただき、いつの間にか28年が経っていました。仕事をしている中で疲れがピークになると「なんで私ばかり」という気持ちでいっぱいになる事もありましたが「私はどうして看護師になったんだろう」と振り返る事で我に返り、今まで仕事をしてきました。

私は笑顔を忘れない看護師でいたいと思って勤務しています。何故かといいますと、笑顔していると不思議と何事もうまくいき、微笑まれた相手も自分も心が豊かになるからです。患者さんへの笑顔、家族の方への笑顔、スタッフへの笑顔をこれからも忘れず、勤務していきたいと思えます。

これからも微力ではありますが、感謝の気持ち・笑顔を忘れずに仕事をしていきたいと思えます。



老健みなみかぜ
大中原 みづえ

医師会立病院からの推薦で看護業務功労を頂けると伝えられ、まず初めに「えっ～、なぜ私か?」という思いでした。

平成2年に入職し、4階病棟へ配属。その頃の病院は重症度も高く、また小児科の入院もあり、いつも緊張・緊張の毎日だったと記憶しています。個人病院での仕事の経験しかない私にとっては戸惑う事ばかりでした。1ヶ月で音を上げ、辞めたいと上司に相談したら「3ヶ月頑張らって、それでも辞めたら話を聞かよ」との返事。それで少し気分がはれました。どの病棟でもスタッフに恵まれ、支えられ、ここまで頑張れたと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。59歳にして大病を患い入院生活を余儀なくされ、6か月間の休職もしました。原因不明で毎日検査、歩く事すら出来ずベッドに釘付けで、車椅子生活が続き、毎日のリハビリでの歩行訓練もきつかった…このまま終わるのかと思ったのも事実です。

い。」という強い気持ちがあった事で、乗り切る事が出来ました。大学病院では回診時に、教授や担当のお医者さんに「早くどうにかして」と訴えていた記憶があります。

私が看護師になりたいという夢を持ったのは小学6年の時でした。今ではこの道で仕事ができ、大好きな老健施設みなみかぜで大好きな仲間と一緒に働けて、こんなに嬉しい事はありません。入所の皆様を家族と思ひながら接し、皆様の笑顔を見ながら働ける有難さや喜びを、今十分に味わっています。

今回このような賞を頂いた事は、今の私にとって二重に嬉しく、貴重な財産だと思ひます。推薦して下さった肝属郡医師会の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。みなみかぜスタッフには、復帰後はいつも支えてもらひ、仕事でのカバーもしてもらひました。今ここに感謝の気持ちを込めて……本当に本当に有難うございました。



2階病棟
川田原 真弓

今回は看護業務功労の推薦をいただきありがとうございました。正直「こんな私が推薦?!」と、照れくさい思ひです。私が入職した頃の病棟は内科、外科、産婦人科、眼科、整形外科、耳鼻科に分かれていました。当時3交代勤務の為、日勤の仕事が終わるのが遅く、2～3時間仮眠をとり夜勤の仕事をしていました。身体的にきつかったのですが、若かったからできたのかもしれない。また、私たち看護師はいろんな部署での看護ができます。最初は、戸惑いや、

不安がありましたが、学んだ技術や一緒に働いた仲間は私にとって一生の宝です。(いずれ忘れる可能性は高いですが…)

多くのスタッフに助けてもらひ、感謝しています。迷惑をかけているかもしれませんが、あと数年で定年を迎える日が来ます。いつまで働けるかわかりませんが、頑張るつもりです。これからのあと数年もよろしく願ひします。

平成28年度 鹿児島大学医学部 地域推薦枠 医学生実習

今年も鹿児島大学医学部地域枠医学生3名の学生が、8月31(水)～9月1日(木)の2日間、当院へ実習に来られました。

実習の主な目的は、へき地医療の現場を体験し、地域医療のロールモデルの1つとして地域医療体制と現場における医師の役割を学習することで、当院の医療現場や地域医療の現状・取り組みなどを紹介させていただきました。



生理機能検査室を見学

向かって右から 川田尚可さん(1年生)、竹山向日葵さん(2年生)、谷口舞さん(2年生)



在宅訪問診療での様子



当院スタッフとの懇談会

肝属郡医師会立病院での実習を終えて

鹿児島大学医学部医学科1年 川田 尚可

今回私は肝属郡医師会立病院で実習をさせて頂いた。これまで何度か病院見学をしたことはあったが、この実習では地域医療の特徴や現状を知ることができた。

一番驚いたのは高齢者率の高さである。南大隅町、錦江町は県内1位2位の高齢化率であり、もう少し若い方もいらっしゃるのだらうと思っていたが、病院に入院されている患者さんたちはほぼ全員高齢の方だった。ここの研修に来る前、肝付町の特別養護老人ホームも見学したが、この施設は現在入居希望者が250人待ちであるらしく、特に要介護度の低い方はなかなか入居できないと聞いた。要介護度を認定するのは医師の役割であり、施設に入るために演技をする方もいて、そこを的確に判断するのが難しいという話は結構衝撃的だった。高齢化は日本全体で進んでいるが、施設や介護士の不足がへき地では特に大きな問題となっている。今限先生の訪問診療では、ALS(注1)の患者さんのお宅にも伺った。

管がついている患者さんにお会いしたのは初めてで、患者さんがお元気だったときの写真などを見ると、病気の非情さにこみ上げてくるものがあった。重い病気の患者さんの在宅医療は多くの人の協力を必要とし、医師はあくまでもそのメンバーの一員であり、患者さんが中心だと今限先生がおっしゃっていた。診察や訪問診療を見学していて、医師と患者さんのコミュニケーションから多くのことを学んだ。大きな声でわかりやすく話すのはもちろんで、目をしっかり合わせて患者さんの話を聞いたり、鹿児島弁で親しみを持たせて話したり、寄り添うようにどの先生も診察されていた。私も将来、患者さんに寄り添って信頼され、安心感を与えられる医師になりたい。しっかりこれから勉強していきたいと思う。

● 誌面の都合で1名紹介、一部割愛あり
(注1) ALS・・・筋萎縮性側索硬化症

倫理医療講演会

「多職種で支える看取りについて」

9月29日(木)18時より、錦江町文化センターで倫理医療講演会が開催されました。当院の倫理委員会が主催し、北海道医療大学 名誉教授の石垣靖子先生をお招きし『最期まで「その人らしく」を支える』というテーマで、患者さんを支えご家族に寄り添う医療・看護・介護とは何かということについてご講演いただきました。約200名の参加があり、そのうち病院外から約50名が参加されました。

医療・看護・介護従事者を対象として講演していただき、日頃の忙しい業務に追われて、見失いがちな倫理について気づかされた方も多かった



北海道医療大学 名誉教授 石垣靖子先生

ようです。聴講後のアンケートの中には、患者さんを一人の人間として尊重すること、患者さんの人生はその人しか生きられないことに気づいた、タッチング(触れること)の大切さ、患者さんに寄り添う姿勢、患者さんの病気だけでなくその人の人生に接する生活歴を
考えることなど多くのご意見や感想があったようです。講演に参加した方々はたいへん満足していただけたようで、今後の仕事に役立ててもらえれば幸いです。

石垣先生には、お忙しい中貴重なご講演をいただき、ありがとうございました。



実践的看護研究発表会

9月3日(土)に実践的看護研究発表会を開催しました。研究するにあたり、患者さま・ご家族など多くの方々にアンケートのご協力をいただき感謝いたします。看護研究は、より良い看護実践の実現であり、看護の発展、質の向上を目指すものです。

各部署が日々の業務の中で問題や疑問に感じることをテーマに挙げ看護研究に取り組みました。その成果を看護ケアに活かし、看護の質向上のために今後も看護研究に取り組んで行こうと思います。今年度も鹿児島県保健学会で2例、第47回日本看護学会慢性期看護(鳥取県)で2例の発表を行う予定です。演題は右の通りです。



No.	テーマ	部署
1	人間ドック利用者の上部内視鏡検査への不安調査	中材手術室
2	療養病棟における皮膚関連インシデント減少への取り組み ～危険度別に分類したカードを利用して～	2階病棟
3	待ち時間に対する不満の軽減	外来
4	身体に障害を持つ入院患者への爪ケアの取り組み	4階病棟
5	高齢者を介護する家族の介護に対する認知度の実態調査	3階病棟
6	病院と老人介護施設間の看護サマリー ～看護サマリー作成時の看護師の意識変化について～	3階南病棟
7	透析患者の服薬アドヒアランス調査	透析室

職場体験学習

● 錦江町立田代中学校



盛夏の候 皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。私も元気に学校生活を送っております。先日はお忙しい中、職場体験学習をさせていただき、ありがとうございました。最初は緊張していましたが、普段ではできない様々な体験をさせていただきました。作業が分からないときには、親切に教えて頂いて、とてもうれしかったです。特に心に残っていることは、患者さんの入浴準備や着替えの手伝い、シーツ交換です。終わったあとに患者さんから「ありがとう」と言ってもらった時は、とてもうれしかったです。また機会がありましたら、そちらにお伺いしたいと思います。これからもお仕事頑張ってください。

錦江町立田代中学校3年 牧原しおり

7月6日(水)~8日(金) 錦江町立田代中学校の生徒さん1名が当院看護部の職場体験学習をされ、感想文を頂きましたので、ここで紹介いたします。



認知症寸劇を 演じました

7月23日(土)、南大隅町主催の雄川フェスタが開催され、当院地域医療室、社会福祉協議会、南大隅町役場介護福祉課のスタッフが認知症寸劇を演じました。

レビー小体型認知症を題材に、名物キャラクター「里美ばあちゃん」を中心にレビー小体型認知症になった方への対応の仕方などを劇中で鹿児島弁や笑いも織り交ぜながら演じ、大好評でした。

今後も各関係機関と連携し、地域住民に信頼される医療活動・周知活動を推進していきたいと思ひます。



レビー小体型認知症とは ?

アルツハイマー型に次いで発症数が多く、特殊なたんぱく質によって神経伝達が障害されるために起こります。症状が出るかなり前から脳の異変は起きていて、初期の段階で物忘れより幻視が見られます。パーキンソン病のような症状、また、頭がはっきりしている時と、そうでない時があり、それを繰り返しながら進行する認知症です。

SPORTS INFORMATION

スポーツを通して地域のみなさんとの交流と、自身の健康・体力作り、チームワークも高まります!



揃いのユニフォームで一致団結!

フットサル大会

8月28日(日)、フットサル部は鹿児島市で開催されたフットサル大会に出場しました。大会出場に向け、前回大会での反省や経験を踏まえた練習、自分たちに合う戦術の模索・意見交換のためのミーティング、他チームとの対外試合を重ねてきました。また、今大会からユニフォームを揃えて大会に臨みました。

当日は、グループリーグを1勝1分1敗の成績で準決勝進出を決めましたが、準決勝で敗退となりました。練習してきたことを活かした部分もありましたが、新たな課題も見つかりました。そこが我々の「伸びしろ」だと思ひます。

これからも、チーム一丸となって練習に励み、良い結果を残せるように頑張っていきます。応援して下さった方々、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

練習を活かした試合展開が今後の課題!





平成28年 肝属郡医師会立病院

防火訓練 (総合訓練)

9月14日(水)防火訓練(総合訓練)を実施しました。昼間に4階病棟から出火との想定で、火災放送とともに現場へ駆けつけ、各部署の参加者が消火活動・患者さまの避難活動を行いました。

終了後は参加者全員で消防署より講評があり、その後新入職員を中心に実際に火を使った消火器訓練を行いました。

初期消火に失敗した場合、患者さまの避難が最重要となりますが、火災時に自分の部署は如何に行動すればよいか考えることができ、有意義な訓練となりました。



ゆっくりおちついて。高所からの避難。



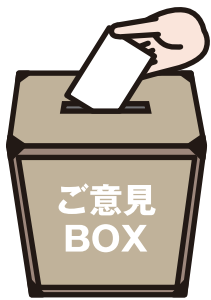
患者さまの命を第一に、迅速で安全な避難活動を。



消火器で初期消火訓練にチャレンジ!



最後に、参加者全員で消防署からの講評を聞きました。



みなさまからの ご意見・ご質問にお答えいたします!

当院では、病院サービス向上の一環として院内6ヶ所(外来、病棟)に「ご意見箱」を設置しており、皆様からのご意見・ご質問などを随時受け付けております。ここでは、寄せられたご意見に対する回答を紹介させていただきます。今後も皆様のお声に耳を傾け、信頼される病院を目指します。



ご意見

- 夏場は休憩室の給湯器はあまり利用しないのでもったいないと思います。
- 部屋がとても暑いです。
- 病室が暑いです。

(4階病棟ご意見箱から)

- ▶ 給湯器の件については、夏場でもごく少数ですが使用される方もいらっしゃいますので、通常通り利用できるようにさせて頂いております。
- ▶ 部屋、病室が暑い件ですが、当院の夏季の一般用冷房運転は深夜2時~7時の時間帯以外は、常時稼働運転しており、停止時間帯につきましても病室等が暑い場合は病棟スタッフの要請により運転しております。館内は27度ぐらいに維持しておりますが、場所により温度に差が生じたり、また4階病棟は最上階であり、日差しの影響を受けやすい環境であることも事実でございます。現在の空調設備では、きめ細やかな対応には限界があり、ご迷惑をおかけしますことをお詫び申し上げます。今後とも定期的な空調設備の点検、室温計測による温度管理など可能な限り対応に努めてまいります。

老健施設【みなみかぜ便り】

7月22日(金)に第19回みなみかぜ夏祭りを開催いたしました。
たくさんの方々にご来場いただき、例年にも増して賑わっていた様に思います。
皆様ご参加ありがとうございました。



舞踊 万寿美流

夏祭り最初の出し物として綺麗な着物姿の小田菜津紀様が舞踊を披露して下さいました。演目は「千恵っ子よされ」と「無情の海」で誰もが心に残る曲でした。一人で踊られたことで皆様の注目を浴び緊張された事と思いますが、凛とした舞に皆様息をのんで見入っておられました。最後に一言挨拶を頂き、利用者様、観客の皆様から大きな拍手を浴びながらステージを後にしました。



利用者様による楽器演奏

今年の夏祭りも利用者様に楽器演奏を披露して頂きました。毎週土曜日に療育音楽を行い、歌を唄ったり、楽器を演奏したりしていましたが、今年は体調不良の方も多く、練習もままならないなかでの本番となりました。しかし、短い練習期間にも関わらずとても素晴らしい演奏をして下さいました。皆様応援ありがとうございました。



舞踊 豊条流

豊条流、豊条実悠様・実千悠様に親子で舞踊を披露していただきました。それぞれ一曲ずつ「祭り女の渡り鳥」と「義経残照」を踊られ、美しく、力強い舞でご来場の方々を楽しませて下さいました。豊条様のご家族が当施設をご利用下さっているという事で、今後機会があれば、また披露して下さいれば嬉しいです。夏祭りに参加して頂き本当にありがとうございました。



楠龍太鼓

いよいよ後半、南大隅町楠龍太鼓の皆様による迫力ある演奏が始まりました。子供6名、大人9名の方々の参加をいただき、舞台上、観客席を練り歩きながら打ち鳴らす太鼓が会場に響き渡り、躍動感ある力強い演奏で祭りは大変盛り上がりました。太鼓の響きは利用者様の胸にも響き渡り、皆様に元気を注入していただきました。



フラダンスチーム ハウオリ・マヌ・ケイキ

今回初めて、鹿屋より小学生(5~12才)のフラダンスチーム『ハウオリ・マヌ・ケイキ』(幸せの鳥の意味)がみなみかぜ夏祭りに来て下さいました。福島のフラガールに勝るとも劣らぬ笑顔いっぱいの可愛らしい子ども達の踊りで、みなみかぜの一夏の夜を楽しませていただきました。



鹿児島 うるまエイサー

私たち鹿児島うるまエイサーも今年で4回目の参加となりました。毎年、見てくださる方たちと共にエイサーを楽しむ事が出来て大変嬉しく思います。私達は「すべての人の心に花を」をテーマに活動していますが、見てくださる皆様の笑顔が私達の心に花を咲かせ、幸せな気持ちにさせてくれます。ありがとうございました。

外来受診に関するお知らせ

完全紹介予約制

当院の外来は「完全紹介予約制」となっております。初診の方は、他の医療機関(かかりつけ医)などからの紹介状が必要となります。また受診の際は、事前に予約をお取りください。

※泌尿器科、整形外科、眼科は「かかりつけ医」がない場合は予約のみで受診できます。

予約に関する電話受付時間

月～金曜日 午後2時～ 5時

土曜日 午前9時～12時

生活習慣病予防&改善相談

- 受付:** 地域医療室(売店となり)にて
内容: 血圧測定・体脂肪率測定・血液検査(希望者)(食事を摂られてもかまいません)管理栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス
費用: 無料ですが、血液検査を希望の方は血糖・150円、脂質(コレステロール、中性脂肪)・300円をご負担いただきます。
対象者: どなたでもお気軽にお越しください。

高脂血症・糖尿病
11/19(土) 12/17(土) 1/21(土)
いずれの日も**10時**より

栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス

個人フォローアップ健診

生活習慣病の予防には生活改善のバロメーターとして定期的な健診が大切です

- 期間:** 申込日より6ヶ月
頻度: 1ヶ月、2ヶ月毎に実施
項目: 糖尿病、高脂血症
内容: 血液検査や体脂肪率測定、結果説明、健康アドバイス等
費用: 糖尿病900円/回 高脂血症500円/回

受診対象：一般、地域住民の皆様
受診受付：当院 地域医療室
担当：保健師まで **TEL.0994-22-3111**

病院稼働状況

	8月	4~8月	月平均
外来患者延数	2,343	11,058	2,212
(1日平均)	75.6	72.3	—
新入院患者数	79	346	69
退院患者数	80	364	73
月末在院患者数	151	784	157
在院患者延数	4,704	24,486	4,897
(1日平均)	151.7	160.0	—
平均在院日数(一般病棟)	15	17	—

編集後記

地球温暖化の影響と騒がれ、猛暑続きの夏で、この先どうなるのだろうと心配しましたが、10月に入ると、朝夕涼しくなり、外ではスズ虫が鳴いたり、田んぼの畦には彼岸花が咲いたり秋がやってきたと実感しています。

秋は「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」と言われますが皆さんは何を楽しみますか？

夏バテで体調を崩された方は、しのぎやすい秋に体調を整えましょう。

職員募集

常勤医師【募集診療科】
内科(一般、呼吸器、循環器、消化器、リハビリ)外科・整形外科・眼科

**看護師・准看護師・看護補助者(パート可)・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士・リハビリ助手・施設管理・薬剤師
調理師・調理員(契約)・臨床工学士・診療情報管理士**

詳細については総務課 庶務係までご連絡ください **TEL.0994-22-3111(内線 1134)**

シンボルマークについて



地域住民の皆様と地域の医療従事者を、平和と安寧の象徴である二羽の鳩で表し、共に協力しながら空高く飛翔するさまをデザイン。

肝属郡医師会立病院の頭文字をエンドレスイメージでデザインしたKマークは、地域医療の中核病院として地域医療を支え健やかで暮らしやすい地域づくりを目指して永遠に伸びゆくさまを表しています。